

EVRI 教育ビジョン研究センター

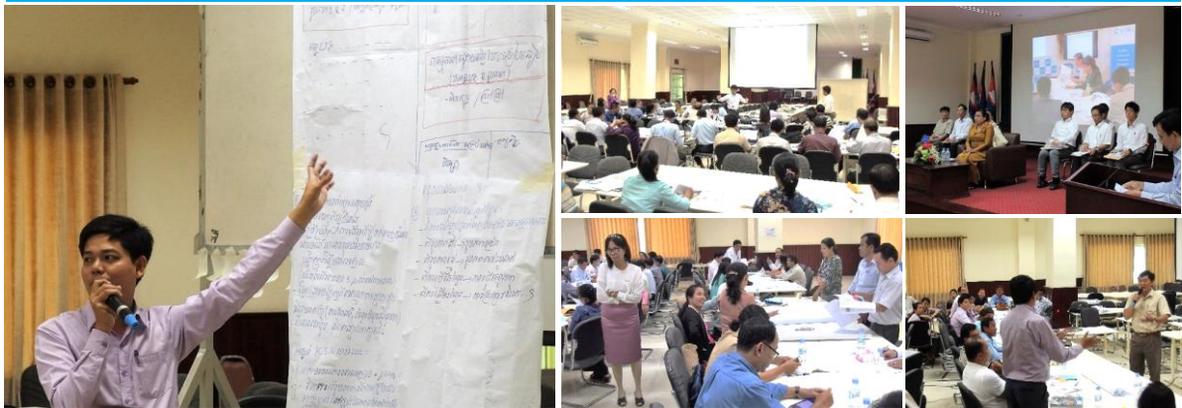
教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(12)



活動日時 2018年9月17日(月) – 9月19日(水)

活動従事者 草原和博, 桑山尚司, 守谷富士彦 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に、専門家の派遣で協力しています。9月17-19日には、拠点リーダーの草原, EVRIメンバーの桑山, 教育研究推進員の守谷が、教育省の会議室で現地研修を実施しました。今回の目的は、6月本邦研修で学んだ教科書づくりの理論をカリキュラム開発局のスタッフで共有するとともに、当初考案した教科書デザイン原則をカンボジアの文脈に合わせて見直すことです。

9月17日は「ヒロシマ型・新しい教科書のデザインを知ろう、学ぼう」と題し、本邦研修(6月実施)の経験者が、自分たちで制作した教科書モデル(「カンボジア経済」「民主カンブチア時代」など)を、自らが講師役になって現地スタッフに解説しました。午後には、新規に制作した教科書モデル(「民主

義の認識」や「失業と勤務」など)が提案されました。

9月18日は「デザイン原則をカンボジアの文脈で見直そう」と題し、前日に提案されたデザイン原則(レイアウト案)について協議するワークショップを開催しました。夕方までに修正版のデザイン原則が提起されました。

9月19日は、国語・数学・理科などの他教科のスタッフと学びを共有し、教科横断的にデザイン原則を協議しました。専門家より、教科書のデザインは期待する授業の目標・内容・方法と連動すること、そして子どもにとって学びやすく、教師にとって使いやすいレイアウトを追究してほしいとの助言がありました。白熱した議論の結果、多くの基本的なコンセプトが共有され、社会科と他教科が協力して教科書の改革に取り組む体制ができました。

今後は、広島県教育委員会の指導主事と協力して、教科書モデルの有効性の検証と、授業づくりの研究を進めて参ります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

